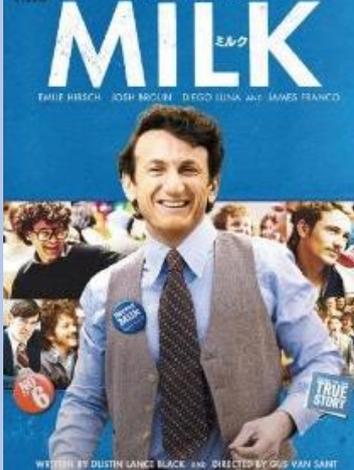


『ミルク』 原題 <i>Milk</i>	2008 年	執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ: 監督: ガス・ヴァン・サント / 脚本: ダスティン・ランス・ブラック / 製作: ダン・ジンクス、ブルース・コーエン / 製作総指揮: ダスティン・ランス・ブラック、マイケル・ロンドン / 音楽: ダニー・エルフマン / 撮影: ハリス・サヴィデス / 編集: エリオット・グレアム /</p> <p>キャスト: ハーヴィー・ミルク: ショーン・ペン / クリーヴ・ジョーンズ: エミール・ハーシュ / ダン・ホワイト (英語版): ジョシュ・ブローン / スコット・スミス: ジェームズ・フランコ / ジャック・ライラ: ディエゴ・ルナ / アンネ・クロネンバーグ: アリソン・ピル / ダニエル・ニコレッタ: ルーカス・グラビール /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	128 分	
ストーリー	<p>ゲイで初めて公職についたハーヴィー・ミルクの最後の 8 年間を描いた政治ドキュメンタリー・ドラマ。1970 年代ユダヤ系アメリカ人ハーヴィー・ミルクは、ゲイであることを隠していたが、20 歳年下のスコットを恋人に得てサンフランシスコのカストロ通りで商才を発揮した頃からゲイの若者に希望を与えることを考えだす。社交的で弁の立つミルクは、何度もの落選を経てサンフランシスコ市政委員に当選する。ゲイの権利を危うくする「アニタ&amp;ブリッグス」のゲイ反対派、「品位と道徳提案 6 号」の圧力に勝ったミルクだったが、1978 年、同僚のダン・ホワイトによって就任後わずか 11 か月で射殺される。</p>	
時代設定	1970 年代	
場所	アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ	
社会背景	<p>同性愛が市民権を得ていなかった、ハーヴィー・ミルクはゲイであることを公表してアメリカで初めて公職に就いた男性政治家。ミルクによってゲイの人々は世間の偏見と公職追放から守られた。</p>	
文化的背景	<p>同性愛者の地位の向上の必要性があった。ミルクは「タイム誌が選ぶ 20 世紀の 100 人の英雄」(1999 年)に選ばれた。ゲイ公民権獲得運動はミルクの住むサンフランシスコのカストロ通りが発祥地。</p>	

使用言語	英語(演説用多い、標準的。)
テーマ	同性愛者の自由と平等、政治的発言権獲得に向けて命をかけた戦い。
みどころ	タブーであった同性愛を公表して、公民権を勝ち取るために命を捧げたハーヴェイ・ミルクの生涯、公的生活と私生活の両立の難しさと葛藤、使命達成のために愛を失うつらさ。ゲイ・アイコンの中心的存在といわれた映画女優ジュディ・ガーランドが『オズの魔法使い』（1939）で歌った「虹の彼方に」（"Over the Rainbow"）をバックグラウンド・ミュージックに流す工夫がされる。
印象深いせりふ	HARVEY MILK: This is Harvey Milk speaking on Friday November 18th. This is to be played only in the event of my death by assassination...I know, I know, I'm not what you were expecting, but I left my high heels at home... I fully realize that a person who stands for what I stand for – an activist, a gay activist – becomes the target or potential target for a person who is insecure, terrified, afraid or very disturbed themselves.... Knowing that I could be assassinated at any moment, I feel it's important that some people should understand my thoughts. I think that-- I wish I had time to explain everything I did. Almost everything that was done was done with an eye on the gay.
授業教材用 メリット	アメリカ史の重要な局面とゲイ・カルチャーについての理解を深める、差別や偏見と戦う勇気を与える、万人の平等という理念を確認する、スピーチに役立つ英語、自由と平等の希望のために戦うアメリカ人の気高さ、アメリカン・ユーモアが見られる英語。
授業教材用 デメリット	政治的思想的反発を銃殺で決着しようとする一部の野蛮なアメリカ人の存在、銃社会アメリカの暗黒面を見せる。
映像入手元	ポニーキャニオン（DVD）
原作の有無	無
支持反応	metacritic 評価（批評家 84、観客 7.7） Rotten Tomatoes 評価（批評家 94、観客 89）
キーワード	ゲイ、ハーヴェイ・ミルク、ユダヤ系、サンフランシスコ、カストロ通り、市長、英雄、差別、偏見、勇気、平等、スピーチ。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。